



11月27日(月)

# 全国養護教諭教育研究会 第3回研究大会

会員の皆さまのご参加を  
お待ちしております...!

## ご案内

### プログラム

9:00~9:30	受付
9:30~9:40	開会のことば
9:40~11:40	パネルディスカッション
11:50~13:00	昼食・休憩
13:00~13:40	総会
13:50~15:50	研究発表
15:50~16:00	閉会のことば

### ☆パネルディスカッション

テーマ「力量形成にむけて—養護実習の目標は  
どのようにたてられているか」

進行：中桐佐智子（吉備国際大学）

座長：鎌田 尚子（女子栄養大学）

パネラー：齋 昭子（弘前大学 教育学部 教官）

・小西俊子（大阪市立新庄小学校 養護教諭）

・横 仁子（前 文京区立深川小学校 校長）

・渡部木綿子（茨城大学 教育学部 学生）

### ☆研究発表 座長：石田トミ（国学院大学栃木短期大学）

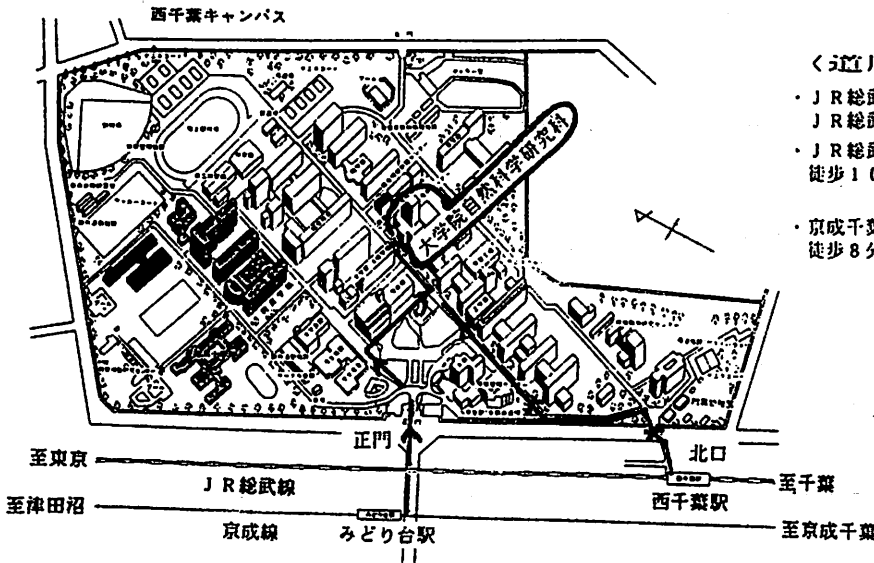
1. 養護実習のあり方に関する研究 その1.  
全国養護教諭養成機関における実習の目的・目標  
(全国養護教諭教育研究会)  
養護実習研究班 大谷尚子（茨城大学）
2. 養護教育実習  
- 学外養護教育実習とカリキュラム構成 -  
松浦昭子（瀬戸内短期大学）

### ☆研究発表 座長：小笠原紀代子（筑波大学附属養育学校）

3. 養護実習における保健指導体験と学生の反応  
石原昌江（岡山大学）他、
4. 養護教諭養成教育における人間機能学実習について  
野崎とも子（千葉大学）他、
5. 若年者にみられる外反母趾の発生要因  
- 養成教育における研究意義 -  
西田マリ（千葉大学 卒）他、

### 会場

千葉大学大学院自然科学研究科 大会議室（西千葉キャンパス内）



### 〈近川町〉

- ・ J R 総武線 秋葉原駅から  
J R 総武線 西千葉駅まで 約50分
- ・ J R 総武線 西千葉駅下車 北口から  
徒歩10分（西千葉駅には、特急・  
快速電車は停車しない）
- ・ 京成千葉線 みどり台駅下車  
徒歩8分

第3回 研究大会  
「大会当日携帯用」の  
ご案内をはさみこんで  
あります。  
どうぞご利用  
ください。

### お知らせ

☆ 学校保健学会に参加される先生は、当日、  
学会で使用した名札をお持ちください。

☆ 大会参加費は、(会 員) 2000円  
(非会員) 3000円 です。

当日、受付でお支払いください。

☆ 派遣依頼が必要な方は、大会実行委員長までご連絡ください。

〒263 千葉市稲毛区弥生町1-3-3

TEL 043-290-2638

FAX 043-290-2515

(大会実行委員長) 小本 冽子 (千葉大学教育学部)

免許法認定講習

坂本 洋子 鹿児島純心女子大学

7年8月3日から10日まで、本学では、英語と養護教諭の2種から1種への上申のための公開講座を実施しました。養護教諭に関しては、5日から10日まで、「養護教諭職務」「カウンセリングの理論と方法」「生理学」各1単位ずつ計3単位、前文部省教科調査官 出井美智子先生のご協力も得て開講致しました。

鹿児島は短大の卒業生が多いので、その要望は大と聞いていましたが、当初30名位と思っていたのに、100名以上の参加があり延べ人数317名受講、全員単位を修得しました。

ちなみにその1週間前に鹿児島大学が「学校保健」1単位を開講していました。

来年度も早めに企画とPRを致しますので県内、近県の先生方の聴講をお待ち致しております。

問い合わせ：TEL 0996 (23)5311

免許法認定公開講座を実施している大学が他にもありましたら、来年の予定などを事務局までお知らせください。

「ハーモニー」で紹介しました。

・吉備国際大学（第9号）

・女子栄養大学（第9号）



《参考資料》

養護教諭免許状が取得できる教育機関 (1995年)

教育機関 免許状の 種別	(1) 課程認定大学・短期大学			(2) 指定教員養成機関					
	① 大学			② 短期大学		① 国立大学 養護教諭 特別別科 (1年制)	② 保健婦学校 (1年制)***	③ 養護教諭養成所 (2年制)	
	国立	公立	私立	公立	私立			公立	公立
専修*	10	1	4	—		—	—	—	
一種	14	2	9	1**	—	7	20	—	
二種	—			2	26	—	****	1	1

〔文献 1)~3) より 堀内久美子作成〕

\* 大学院14校、専攻科1校（私立）

\*\* 短期大学専攻科〔文献 2)では指定教員養成機関に分類されている〕

\*\*\* 1994年 4月現在

\*\*\*\* 指定教員養成機関ではない保健婦学校の卒業生が保健婦免許取得後に教育委員会に申請すれば二種免許が取得できる

なお、看護系大学や短大専攻科等の卒業生で保健婦免許取得者の場合も同じ。

〔文献〕

1) 文部省教職員課他編：教員免許ハンドブック 2 課程認定編〔加除式〕，1994現在 第一法規

2) 教員免許状等の授与状況について，教育委員会月報46(13)：44-57，1995.3

3) 官報号外第75号（平成 7年 4月 20日）

創造的教育実践ができる養護教諭を目指して

宮野 ふじゑ 戸野塚 厚子  
丑田 由美 宮城学女子大学家政学科

はじめまして！宮城学院女子大学です。  
宮城学院で養護教諭養成をしているのをご存じない方も沢山いらっしゃることでしょう？  
宮城学院女子大学で養護教諭養成を始めたのは1987年で、まさに“これから”の養成機関です。本学では、養護教諭の一種免許、保健科の一種免許が取得できます。1995年現在、養護教諭免許を取得した卒業生を131人送り出し、そのうちの48.1%が養護教諭として自己実現を図っています。本養成は、家政学科に内包された養成施設で、学生は栄養学、栄養指導に強いことが特色です。

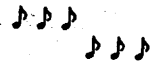
我々は、学生自らが得意とする所を最大限に生かし、養護教諭としての力量の幅を広げていってほしいと願いながら養成しています。そして、「養護教諭って素敵な職業だなあ」、「やっぱり、養護教諭になって実践したい」という明るく、前向きな志向を養うことに力点をおいています。なぜなら、強い養護教諭志向は、学生の学びを最大限にすると考えるからです。

一人一人の教官の魅力ある講義も必須ですが、本年度から、『養護教諭のための公開講座』を開設し卒業生のみならず、宮城県内の養護教諭の先生にも参加を呼びかけ、学生と現職の先生がともに学びあえるような企画を開始しました。これまで、筑波大の森昭三先生の「これからの養護教諭」、東北大の吉成道夫先生の「学校にもとめられる救急法」、本学の中村雅知教授の「ホットする保健室空間をもとめて」と題したリレーションづくりのワークショップ等を実施してきました。現職の先生たちと出会い学びを深める機会は、学生にとってとても有意義な時間のようです。宮城県唯一の養成機関として、県内の先生と学びあう関係を築きながら、地域に根づいて

いきたいと願っています。

出来立てのホヤホヤでぎこちなさもあるかもしれませんが。しかし、児童・生徒と同様でこれからまだまだ成長する可能性をもった養成機関です。我々も“創造的な養護教諭養成実践”を目指してPositiveに働いています。

全国の養成機関の先生、養護教諭の先生、御助言・御力添えを よろしくお願いいたします。  
(文責 戸野塚)



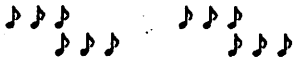
### 新潟大学養護教諭特別別科

西岡 伸紀 新潟大学教育学部

本学科は、昭和55年(1980年)教育学部内に設置された、定員50人の1年制養成課程である。別科の設置が全国7大学に限られているためか、学生の出身地は多様であり、本年も、関東甲信越・北陸を中心に、15都県から集まった。また、本学への入学には看護婦免の取得(含、見込み)を要し、入学者の30~40%を臨床経験者が占める。学生は目的意識が明確なためか、概ね勉学意欲は高く、学部内の授業担当教官の評判も悪くない。しかし、最近の教員採用数の激減により、採用率が志願者の35%程度まで低下してきたことは頭痛の種である。

本学科は、これまでに、カリキュラム改革やガイダンスの充実を図り、養成の質の向上に努めてきた。けれども、養護教諭養成の向上を図るには、別科制度の構造上の問題に突き当たる。具体的には、「2人の専任教官で、50人の学生を相手に1年間で質の良い養成を目指す」ことの限界である。努力を重ねても、1年間で実現できることには限りがある。さらに、別科での取得単位には蓄積性が認められていないため、例えば学位取得には何ら貢献しない点も問題である。生涯教育が指向され、大学院等への進学意欲が高い現在、養教1種免が取得できるとはいえ、別科での取得単位の有効性には大きな疑問が残る。

このような現状にも朗報がある。一昨年より、国立大学4年制養成課程の先生方と連携し、養護教諭の力量形成を研究する中で、別科での養成の問題点を明らかにする試みが始まった。研究では、学生や卒・修了生へのアンケート調査を行い、結果を踏まえて改善を進めていく予定である。諸先生方の活発なご意見・ご指導をお願いしたい。



## 國學院大學栃木短期大學

石田 トミ 國學院大學栃木短期大學

昭和41年4月、桜で有名な大平山山麓に國學院大學栃木短期大學が開設された。その時、家政科（現家政学科）も発足したわけである。その後家政科に特色を持たせるという目的で、昭和46年4月養護教諭養成課程が開設された。

ちなみに、その後文部省の方針で私立短期大学家政科に加える養護教諭養成課程の開設は許可されなくなったので、本学が最後の開設校である。

本学は養護教諭コースとしては独立せず家政科の中で履修するよう規定された。そのため家政学科の必修科目が多く、家庭生活を営む上での利点はあったが、養護教諭の専門科目の履修時間が少ないという問題点があった。

しかし、近県には私立短大の養護教諭養成課程がないこともあってか、北関東、東北、長野、新潟などを中心として多数の者が応募してくる。例年、家政学科入学者の8割ぐらいが（本年度131名中104名）養護教諭養成課程を履修している。少ない時間数を補うために、補講や宿題が多いにもかかわらず欠席も少なく皆熱心に勉強している。

しかし、養護教諭の採用数が年々激減している。それにも関わらず不合格者が臨時採用教員をして再度挑戦している姿を見ると可哀想でならない。

だが、今年の栃木県の採用試験合格者17名中11名が本学卒業生だったので、喜びより驚きのほうが大きかった。

私は昭和57年に本学に赴任した。高校で養護教諭30年間を経ての転身である。初めての専任教員だったので、軌道に乗るまでは大変であった。

教育方針としては、現場に出て即戦力になれるような講義と実習をすることにした。

日常の講義のほかに、補講として臨床検査技師による臨床検査の講義・実習や、日赤救急法講習会、有識者による講演会を実施している。

また、下級生に対しては採用試験合格者による受験都府県の出題傾向・勉強法の発表会や、養護実習・病院実習の体験発表会などを開催している。

もちろん養護教諭にとって大切なことは知識や技術だけではない。人を愛する心が第一であることは力説している。

幸い平成元年に教室、実習室、研究室が新築され、設備・備品も完備した。学生の希望を叶えるには厳しい状況だが、今後も努力して行きたいと思っている。



## 熊本大学の養護教諭養成

松本 敬子 熊本大学教育学部

本学は、毎年約100名の養護教諭1種免許取得者を送り出す。養護教諭課程40名、養護教諭特別別科が40名、特別看護科の20名がこれに加わる。

これら養成機関は、比較的早期に設立され、変化発展を見ながら今日に至っている。

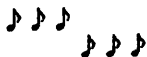
特別別科は、昭和38年養護教員課程の名称で始まり、改めて昭和50年に現在の形態となった。養護課程は、養護教諭養成所として昭和41年に発足、昭和52年に4年制に発展している。特別看護科も昭和41年設置である。

学生は、九州各県から集まるが養護課程はどちらかと言えば熊本出身者が多く、地元熊本での就職率が高い。特別別科は、北海道から沖縄まであらゆる県からやって来て養護教諭としてそれぞれの県に帰っていくケースが多い。特看生も一部、養護教諭になる。

このように、三十余年の年月の中でそれぞれ特徴ある養護教諭を送り出している。

今後、社会の要請や教育の現場に応じた更なる変革の課題は多いが、社会人教育に関する関心は大学院入学の問題を含めて高い。

今年も各県軒並みの採用減である。過年度受験者が増え現役合格率の減少を招く現象は当分続く問題であり、複数制導入が待たれる。



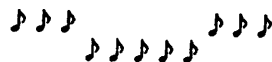
## 高知学園短大の養護教諭養成

岡田 暎子 高知学園短期大学

1967年、食物栄養、幼児教育、衛生技術、保健の各科4領域に於いて、それぞれ専門職の養成を目的として短期大学が発足しました。その一環として保健科で『歯科衛生士の資格を持った養護教諭』を特色として養護教諭の養成が始まりました。高知県養護教諭の1/3強は当短大の卒業生でしめられています。

1988年、歯科衛生士養成と養護教諭養成を専攻分離し、養護教諭資格取得を主専攻とした『保健専攻』として教育内容を充実し再出発致しました。しかし、近年は、ご多分に漏れず養護教諭は殆ど新採用がありません。『保健専攻』は養護教諭養成に焦点を絞るのではなく、広く地域社会(地域・職場・家庭)で起こる健康問題に対応できる人間教育が必要であるとしカリキュラムの変更を行いました。例えば、人間関係系として感性理論、communication論I、II(手話演習を含む)等、医療福祉系として老人福祉、医療社会事業等、情報処理系として医療文書実務、情報処理等パソコン・ワープロ演習・実習、養護教諭系として障害児教育、生命の倫理、臨床心理学、保健科学ゼミ等、総合的な人間教育をおこなっています。

短期大学の目的も専門職を養成する時代から、一般社会人としての教養を広く身につける教育機関として変化が求められる時代になってきたのかも知れません。遅ればせながら可能ならば、明日への希望として大学への変身を夢見ないわけには行かないと思っています。



## 21世紀養護教諭教育への夢

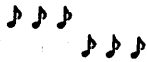
原田 寛子 四国大学短期大学部

四国三郎吉野川の河口に広がる水と緑の地に、30余年の歴史をもつ四国大学。ここは、大都会では味わえない田園風景があり、心身の健康管理を学ぶ養護教諭教育には又とない地の利にある。平成4年度から念願の男女共学となり、既に男子卒業生も社会で活躍している。学生は全国各地から集まり——卒後は郷里に帰って養護教諭に——の夢を抱いて、日夜研鑽している。

さて、最近の就職への展望に甘い考えは禁物と、超氷河期の厳しい社会環境にも耐えうる人間に成長してもらいたい——養護教諭養成教育を主としながらも、多様化する社会のニーズに適應できる人間教育を目指している。

そのために、医療・保険（医事管理士資格）、介護（ホームヘルパー資格）などの技術もと欲ばったカリキュラムになり、日々多忙である。卒後に地域社会や家庭で、健康管理のバイオニアとして活躍を期待してのことである。

つまり、養護教諭教育に当たって、学校教育現場のみに視点を合わせての価値観を洗脳するのではなく、それを超えて『人間への心暖かな養護』のための教育にしたい。このことはひいて彼等に人生の意味を社会の中で考えさせることになるから。



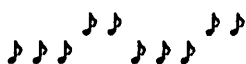
やさしさをキャリアにつなげます

松浦 昭子 瀬戸内短期大学

世界に誇る夢の架け橋といわれた瀬戸大橋が開通し、瀬戸内に面した香川県は飛躍的な発展をしつつあります。気候温暖・風光明媚・人情豊かな当地は、全人教育を目指す本学にとって、勉学に励む地として大変恵まれた教育の町です。豊かな人間性を基とし、それぞれ専門的な学問と技術を身につけ、終生誇りをもって生かせるスペシャリストとしての資格が取得できるようにとつくられた私学です。

創立以来30年、歴史は浅いのですが、人の生活に欠くことのできない家政学科から始まり、社会の変化に伴う要望に答え、「人を幸せにできるのは、人のもつやさしさの力です」をモットーに、生命の源だから、優しい心で食を科学する食品栄養学科、純粋な瞳に希望を灯す心と技術を学ぶ養護教育学科、（取得できる資格：養護教諭2種免許・中学校教諭2種免許（保健）・初級カウンセラー・秘書士・医療秘書士・ホームヘルパー1級・社会福祉主事（任用資格）・その他と幅広く学生のために配慮されています。

なお、併設された瀬戸内総合学院（歯科衛生学科・福祉学科）両方合わせ学生数約650名を守り、和の大切さを心がける教・職員全員、毎日が充実した日であるように努力しています。



徳島文理大学（家政学専攻）  
徳島文理大学短期大学部（福祉養保コース）

佐川 玲子 徳島文理大学家政学部

本学は、平成7年 創立100周年を迎えた3大学院、2専攻科、6学部 17学科をもつ伝統ある男女共学の総合大学です。「自立協同」の建学精神のもと教育が推進されています。

養護教諭養成は、昭和41年に家政学部家政学科が設置され、家政学専攻で養教1種、家庭、保健1種教員免許状が取得でき現在まで養成が続けられています。定員は50名で約500名の卒業生を送りだし、全国各地で広く活躍しています。

更に平成5年4月家政学専攻科が設置され養護教諭専修免許状が取得できるようになりました。定員は8名（養護、家庭）で1年間専門的に勉学研究し、殆ど養護教諭に就職しています。

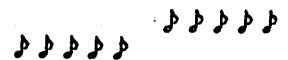
短期大学部は、昭和42年から養教2種、中2種保健の教員免許状が取得でき、生活科学科福祉養保コースとして定員120名で養護教諭の養成を続けています。

平成7年4月からホームヘルパー1級の養成を行い社会福祉のニーズに対応する専門教育を行っています。

現在までに1700名の卒業生を出し、養護教諭及び各分野で全国各地に広く活躍している現状です。

また、家政学部家政学専攻3年に編入学もできます。

各方面のご支援を得ながら、養護教諭を志望している学生に、より充実した教育ができるよう努力を続けています。



！！新研究テーマ応募状況について！！

1995年10月22日までに次年度の研究テーマの応募はありませんでした。

この状況をふまえて、世話人会で検討協議しました。その結果は第4回総会に提案します。

(堀内 久美子)



+ 事務局から +

☆会員の名簿の訂正をお願いします。

(1)入会および退会 (1995.11.8 現在)

①入会 なし

②退会

名簿p.2(会員番号111) 大高喜美子(北海道室蘭清水丘高等学校) 1994年度限り

名簿p.7(会員番号156) 平山美智子(九州女子短期大学) 1994年度限り

名簿p.7(会員番号 91) 藤島ひとみ(箕面市立萱野東小学校) 1994年度限り

(2)住所変更

名簿p.2(会員番号 92) 岩堂美智子(大阪  
市立大学生活科学部)

連絡先-(自)〒665 兵庫県宝塚市仁川  
宮西町5-2-106  
(0798)52-6644

名簿p.5(会員番号117) 鈴木裕子(横浜市  
立新治養護学校)

連絡先-(自)〒227 横浜市青葉区桜台  
33-22-801 画は変更なし

(3)勤務先変更

名簿p.2(会員番号 88) 安部朱實(旧姓  
井福)(福岡市立香椎小学校)

連絡先-(勤)〒813 福岡市東区香椎駅  
前3丁目2の1  
(092)681-7231

☆会員数は 178名です。(1995.11.8 現在)

世話人会等の活動



1. 第16回拡大世話人会

日時: 1995年10月22日(日) 10:30~17:30

場所: 筑波大学附属駒場中・高等学校

出席者: 世話人7名, 第3回研究大会実行  
委員4名(内兼任1名)

内容: ・第3回研究大会の準備の詳細に  
ついて(抄録集、大会前日の会合、  
大会当日の役割、その他)

・研究テーマについて

・会則制定について(討議のみ)

・役員改選内規について

・第4回総会議案準備

・「ハーモニー」10号発行計画

・その他



+ 編集後記 +

「ハーモニー」第10号(大会直前号)では、『全国養護教諭教育研究会 第3回研究大会』のご案内と第9号でお知らせしましたように『学びや紹介～北から南から～』の特集をさせていただきました。

『学びや紹介』には、北から3校、南から5校を紹介いたしました。執筆期間が短かったにもかかわらず、多くの先生方から原稿をいただきました。紙面をおかりしてお礼を申し上げます。

さて、『第3回研究大会』ですが、現在小林冽子先生(大会実行委員長)を中心に、大会実行委員で準備を進めています。一人でも多くの会員の皆さまとお目にかかれるのを楽しみにしております。11月27日に千葉大学大学院自然科学研究科大会議室でお待ちしております。

(中川優子, 中桐佐智子)